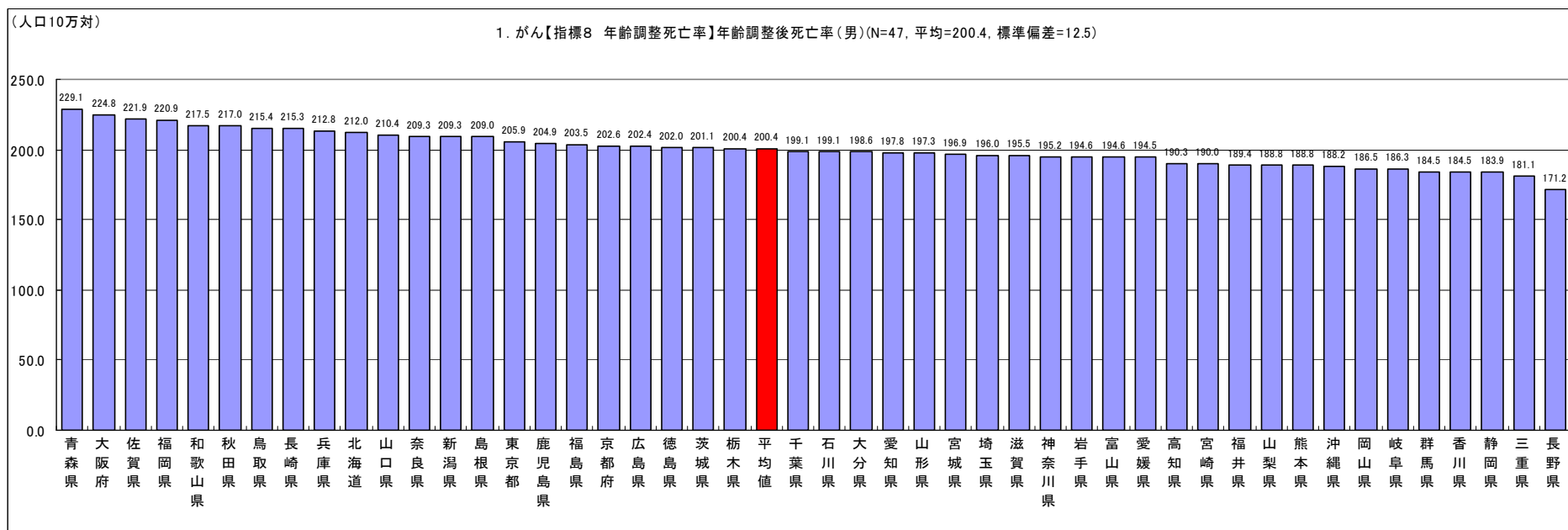
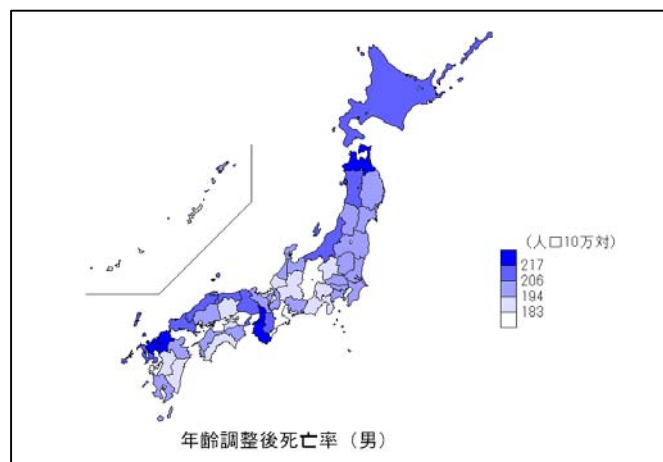


・ がん-8 年齢調整死亡率



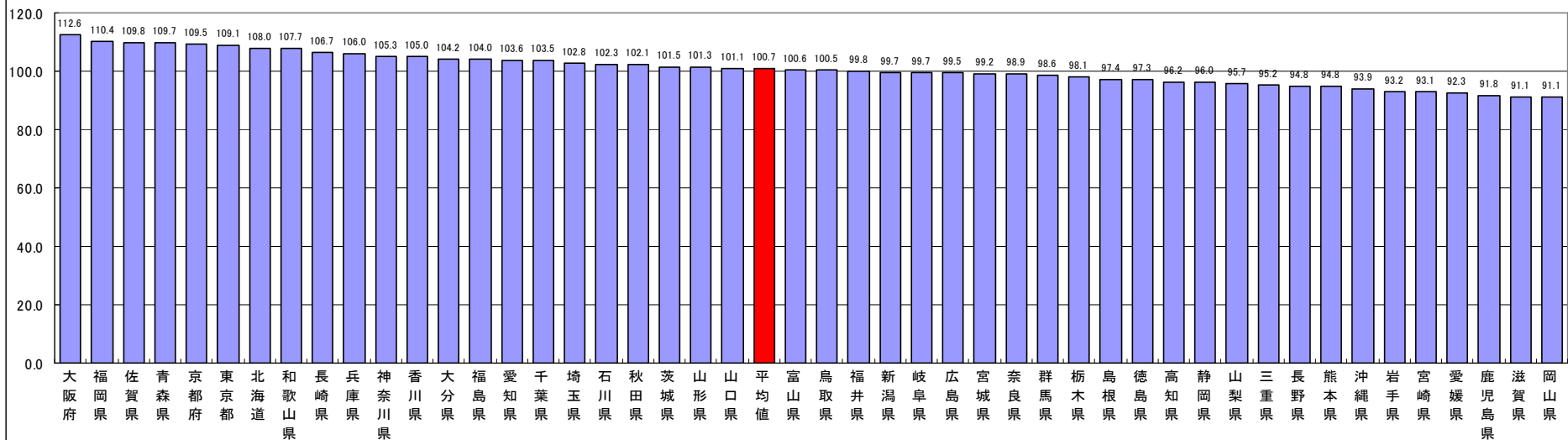
26



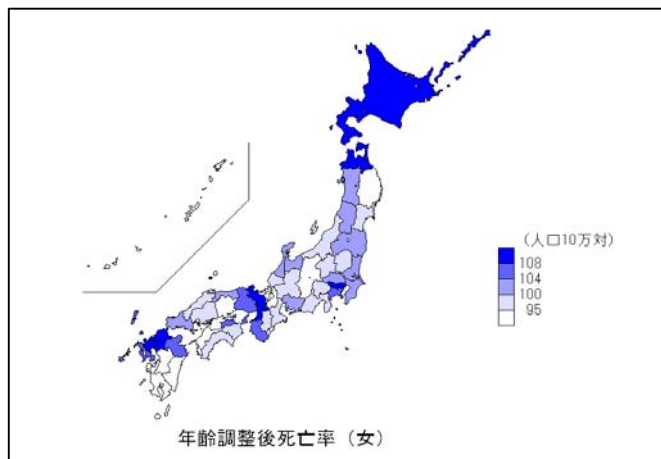
- ・ 「どのくらい亡くなるのか」を見るための指標として用いています。
- ・ 青森県が最も高く、長野県が最も低い結果です。平均値は 200.4、標準偏差は 12.5 です。
- ・ 地域的な傾向として中部地方が低くなっています。

(人口10万対)

1. がん【指標8 年齢調整死亡率】年齢調整後死亡率(女)(N=47, 平均=100.7, 標準偏差=5.7)



27



- ・ 大阪府が最も高く、滋賀県、岡山県が最も低い結果です。平均値は 100.7、標準偏差は 5.7 です。
- ・ 地域的な傾向として、中部地方が低くなっています。

(3)「指標」の定義および算出方法

指標 1：年齢調整受療率

◆ 定義

傷病大分類「悪性新生物」の都道府県別受療率（年齢調整）

患者調査の「悪性新生物」の都道府県別受療率を標準人口で補正した値とします。標準人口には昭和 60 年のモデル人口を使用します。

◆ データの出典

データ	調査名	年次	集計表	備考
「悪性新生物」の都道府県別受療率	患者調査	平成 14 年度	3 閲覧第 115 表（その 1） 受療率（人口 10 万対）、性・年齢階級×傷病大分類×入院－外来・都道府県別（総数）	

指標 2：検診受診率

◆ 定義

- ・胃がん検診受診率
- ・肺がん検診受診率
- ・大腸がん検診受診率
- ・子宮がん検診受診率
- ・乳がん検診受診率

地域保健・老人保健事業報告のがん検診受診率の値とします。

◆ データの出典

データ	調査名	年次	集計表	備考
胃がん検診受診率	地域保健・老人保健事業報告	平成 16 年度	(老人保健編) 第 19 表 基本健康診査及びがん検診対象者数・受診者数・受診率、都道府県－14 大都市－中核市－その他政令市、種類別	
肺がん検診受診率	地域保健・老人保健事業報告	平成 16 年度	(老人保健編) 第 19 表 基本健康診査及びがん検診対象者数・受診者数・受診率、都道府県－14 大都市－中核市－その他政令市、種類別	